



事業所に設置されたデジタルサイネージでの放映



設置されたチラシ

利用者の健康維持・増進に デジタルサイネージで健康体操



JA

は管内の各支所・出張所、一部
営農経済センター、南河内グ

リーンセンターで、デジタルサイネー
ジによる健康体操の放映とチラシの
設置を始めました。デジタルサイネー
ジによる健康体操の放映は県内JA
初の取り組みです。

新型コロナウイルス感染拡大によ
り高齢者支援事業が実施できない状
況が続く中、高齢者の健康増進・維持
を目的として令和4年度からデジタ
ルサイネージを利用した取り組みを
開始しました。健康体操には理学博士
の二村ヤソ子さんが考案・監修・指
導を行い、JA共済連が作成した「レ
インボーボディ操」を使用。胸の体操、背中
の体操、手の体操に分かれており、
座つたまま行なうことができます。

J A生活福祉課は「レインボーボディ操
は簡単に誰でもできる体操です。簡易
なチラシも作成しましたので、持ち
帰つてレインボーボディ操を試してい
だき、健康増進につなげていただけれ
ば」と語りました。

生産者ほ場でユリ栽培講習会 JA球根切花専門部

定植作業を行う部員ら



JA 球根切花専門部は2月24日、宇都宮市駒生町のリーランド・アマガイ(天谷充範さんほ場)でユリ栽培講習会を実施。同専門部員やJAの担当者ら7人が参加し、ユリの栽培試験に伴う定植作業を行いました。

同栽培講習会では、球根会社からの依頼で5年前からユリの栽培試験を実施しています。品種や球根の生産地が異なるユリを栽培し、草丈、輪数、開花日などを記録して報告。実際のほ場でどのように生育するか観察を行います。今回の講習会では、2021年度南半球産のユリを中心に約120品種を定植。今後継続して生育状況を観察していきます。

JAの担当者は「栽培管理の勉強会というだけでなく、新品種の生育を見ていち早く導入を検討できるなど、生産者にとってもメリットがある」と話しました。

➤ 彼岸に向けて色目統一を 球根切花専門部が目ぞろえ会

球 根切花専門部は3月1日、ユリの目ぞろえ会を宇都宮市上籠谷町の東部選果場花き集荷場で開催しました。部員はじめJA全農とちぎや市場、JAの担当者ら7人が参加しました。

須藤智司専門部長は「今日の目ぞろえ会で色目などをしっかり確認・統一して、今月下旬の春彼岸に向けて良質なユリを出荷するようにしていこう」とあいさつしました。

目ぞろえ会は、須藤専門部長らが梱包された1束1束を丁寧に掲げ、参加者全員でつぼみの状態や色づきなどを確認。市場担当者は「彼岸に向けて、できるだけ色を合わせて、統一されたユリを出荷してほしい」と要望しました。JAの担当者が今年2月の販売実績を報告。「2月中旬までは全国的にも品薄で単価高で推移した」と総括しました。



東部選果場花き集荷場で行われたユリの目ぞろえ会

本年度の営農相談員活動に向けて決意表明 2022年度営農相談員進発式

決意表明を行う戸崎さん



JA は3月7日、宇都宮市戸祭元町のJA本所で営農相談員進発式を開き、JA役職員や関係機関の担当者ら30人が出席。進発式では2022年度の活動方針を協議し、営農相談員の基本的役割や活動体制などを確認しました。また、各営農経済センターに配置されている営農相談員が、地域に即した本年度年間活動計画を発表しました。横松久夫組合長は「組合員の経営が圧迫される状況が続く中、組合員が収益をあげられるよう、栽培・情報提供だけではなくコスト削減や経営などについてサービスを提供していきたい」とあいさつしました。

東部営農経済センターの戸崎徹さんが営農相談員を代表して「農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域農業の活性化を基本目標とし、多様化するニーズに応じるため日々の活動に励んでいきたい」と決意表明を行いました。



需要に応じた米生産要請 上三川町・下野市に



要請書を星野光利上三川町長に手渡す

JA の横松久夫組合長は3月22日、上三川町役場と下野市役所を訪れ、「需要に応じた米生産に対する要請書」を各市町の代表者に手渡しました。要請書では「主食用米の需給環境は2018年度から新たな米政策下での過剰生産に加え、コロナ禍での消費減少により需要が大きく減退したため、在庫量は適正在庫を大きく上回っている」ことを指摘。「2022年産米の価格の安定を図り、本県産米の需要均衡を実現するためには、全生産者が作付参考値の範囲内での生産抑制を達成することが必須」であるとし、「各市町再生協議会管内の集荷業者や独自販売による生産者に対し、作付参考値の範囲内で米生産に取り組むよう強く働きかけること」を要請しました。

中山庄一下野市副市長は「JAに協力を得ながらできることはやっていきたい」と応じました。横松組合長は「農家の経営安定・所得確保のために、管内全体で作付参考値を守り、バランスを取りたい」と話しました。

地域農業の活性化目指す JA青壮年部第24回通常総会

J A 青壮年部第24回通常総会



新たに選任された吉田青壮年部長

JA 青壮年部は3月24日、第24回通常総会を宇都宮市戸祭元町のJA本所からリモートで開催。青壮年部員やJA役職員ら41人が出席しました。2021年度は常勤理事との意見交換会や、真空パック米の配布への協力、子ども食堂やフードバンクへの農畜産物提供などを実施。本年度は組織の強化など5項目の事業計画を設定し、営農と生活の安定向上や地域農業の活性化を目指して取り組みを続けていきます。役員改選により、青壮年部長に吉田昌史さんが選任。吉田さんは「今年も昨年度のように活発な活動を続けられるよう、盟友の皆さんのご意見やご要望を聞きながら努力していく」と抱負を語りました。部長を退任した黒崎浩史さんは「規模を拡大しながら営農活動を続けられたのは盟友のおかげ。青壮年部に入っていたら今の自分はない。これからも青壮年部が仲間や消費者から必要とされるよう、発展を願っている」と語り、部長としての活動を締めくくりました。横松久夫組合長は「青壮年部の皆さまからはJAの活動に対してさまざまなご協力、ご提言をいただいている。生産資材高騰への対応など、関係機関一体となって対策を進めていく」と語りました。



2022年度の計画を協議 和牛改良専門部会定期総会



事業計画などを協議する専門部会

JA 和牛改良専門部会は3月24日、宇都宮市戸祭元町のJA本所で定期総会を開き、同専門部会員やJA役職員ら17人が出席。2021年度事業の報告や、2022年度事業計画を説明しました。本年度事業計画では、部会員の生産性向上と安定的な和牛繁殖経営を実現するため、繁殖技術の向上と子牛登記巡回の実施や牛伝染性リンパ腫対策への取り組みなどの9項目を設定。役員改選が行われ、引き続き鈴木和弘さんが部会長に任命されました。見形繁常務は「急速に変化する生産・流通・消費の動向に対応するため、今後の生産振興・販売強化などに取り組んでいきたい」とあいさつしました。

優良子牛生産組合長表彰が行われ、去勢の部で佐伯年夫さん、雌牛

の部で松本昭彦さんがそれぞれ受賞しました。その他の受賞者は以下のとおりです。

◇部会長表彰▽去勢の部=松本肇▽雌牛の部=床井和之 ◇基本登録最高得点表彰=上野勝

◇連産牛表彰=高山幸一 ◇特別表彰▽宇都宮肉用子牛最多購買者=石戸栄



令和3年度組合員総集会を開催
(1月27、28日、3月14、15日)

JAは管内8地区で

令和3年度組合員総集会を開催しました。
令和3年度の主な活動内容や主要事業の実績、
創造的自己改革の実践状況などを書面で報告。
質疑応答では、組合員からの意見・要望に
JA常勤役員や担当者が回答しました。
詳細についてはアグリジャンプ6月号で
お知らせいたします。



JAうつのみやフェアで管内農産物をPR
(3月25~27日)

JAは宇都宮市江曽島本町の
アピタ宇都宮店で
イチゴ、トマト、ニラなど
10品目の管内産農産物を
特別ブースで販売。
「特にどちあいかが好き。
今回は2パック購入する」と
話す購買客もいました。



管内農産物をPRした
JAうつのみやフェア



女性組織がこども食堂に手軽でおいしい料理
(3月28日)

みどり会篠井支部は宇都宮市戸祭4丁目の
昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。
櫻井正枝支部長は「社員食堂や給食センターに
勤める支部員に手軽でおいしいレシピを教えてもらった。
子どもたちにおいしく食べてほしい」と話しました。

組合員の皆さんからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

管内インフォメーション

せっけんと消毒液寄贈 宇都宮の全小学校に



宇都宮市役所で行われた贈呈式(左から横松組合長、小堀教育長、田村本部長)

小 学校の新型コロナウイルスの感染防止対策に役立ててもらうため、JAうつのみやとJA共済連栃木は2月18日、宇都宮市教育委員会に消毒液とせっけんを寄贈しました。コロナ禍の中、児童が安心して学校生活を送れるように、同市内の全69校に消毒液1本(5㍑)と固形せっけん1箱(120個入り)を贈りました。寄贈式には、JAの横松久夫組合長や同共済連の田村登志郎本部長らが出席しました。

横松組合長は「JAと共に地域貢献活動を積極的に推進している。コロナ禍でも子どもたちに安心して学校生活を送ってほしい」とあいさつしました。

た。目録を受け取った小堀茂雄教育長は「第6波が拡大する中での寄贈は大変ありがたい。これ以上の拡大に歯止めをかけていきたい」と謝辞を述べました。

ランチョンマットや教材を寄贈 JA が宇都宮市教委に



JAは4月4日、給食用ランチョンマット4495枚と、農業や食料について学ぶための教材を宇都宮市教育委員会に贈呈しました。JAでは2015年度から小学1年生にランチョンマットを贈呈し、県産農畜産物のPRや食育に取り組んでいます。

今回贈呈したランチョンマットはJAグループの「みんなのよい食プロジェクト」の一環として新1年生に配布。社会科補助教材「とちぎの農業」は小学3年生、「農業とわたしたちのくらし」は小学5年生が対象です。

宇都宮市役所で行われた贈呈式では、JAの横松久夫組合長が「子どもたちにはランチョンマットと教材を通して農業に関心を持ってほしい」と述べました。また、この取り組みは上三川町と下野市の教育委員会へも実施しています。

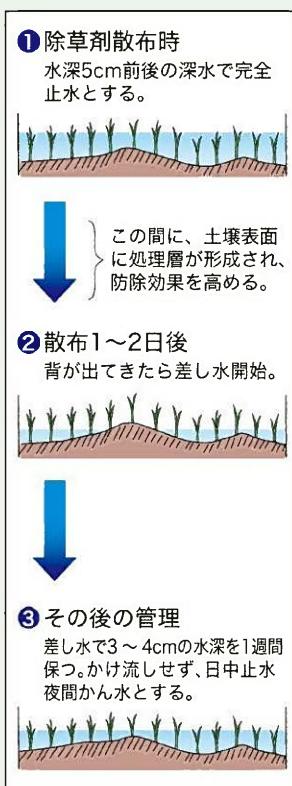


宇都宮市役所で行われた贈呈式

水稻



図1 除草剤散布後の水管管理



水管管理

水管管理は品質・食味向上の重要なポイントになるので、生育量・生育時期に合わせた管理を実施しましょう。

田植え4～5日後は、水深5cm程度のやや深めとし、活着の促進を図るとともに寒風害などから稻を守ります。特に除草剤の効果は、水管理で左右されますので注意しましょう。

水もちの悪い水田は、ゆっくり差し水を行うとよいでしょう（図1）。

活着後は、浅水管理で分けつを促進させます。夜間あるいは早朝に水を入れ、日中は水を止め浅水とし、水温・地温を上げる水管理をするのが基本です。

虫の発生を的確に把握して防除する

田植え4～5日後は、水深5cm程度のやや深めとし、活着の促進を図るとともに寒風害などから稻を守ります。特に除草剤の効果は、水管理で左右されますので注意しましょう。

水もちの悪い水田は、ゆっくり差し水を行うとよいでしょう（図1）。

活着後は、浅水管理で分けつを促進させます。夜間あるいは早朝に水を入れ、日中は水を止め浅水とし、水温・地温を上げる水管理をするのが基本です。

○イネミズゾウムシ

移植2週間後に畦畔沿いの任意の50株を調査して、成虫が25頭以上の場合は防除が必要です。

○イネドロオイムシ

移植後1ヶ月程度経過し、有効茎数50株を調査して、成虫が25頭以上の場合は防除が必要です。

ます。排水の悪い水田は、中干しの時期となります。この時期の管理は、稻作の最初のポイントとなる大切な時期ですので、ほ場を丁寧に見て回るようにしてください。

病害虫防除

昨年、イネミズゾウムシやイネドロオイムシ、縞葉枯病の被害が目立った

ほ場は、移植時に箱施用剤による防除をしましよう。箱施用剤を使用しない場合は、移植後ほ場をよく観察し、害

虫の発生を的確に把握して防除するようにしましょう。防除する基準については次のとおりです。薬剤についても表1を参考にしてください（薬剤を散布する場合は、使用基準を厳守してください）。

表1 移植初期の主な病害虫防除剤

病害虫名	薬剤名	散布量 (10a)
イネミズゾウムシ	トレボン粒剤 なげこみトレボン	2～3kg 300ml(50ml×6本)
イネドロオイムシ	1. 幼虫発生初期	
	なげこみトレボン スタークル粒剤	300ml(50ml×6本) 3kg
	2. 幼虫による加害が始まっている場合	
	スミチオン乳剤 トレボンEW	1,000倍液を60～150ℓ 1,000倍液を60～150ℓ

図2 収穫適期の目安



適期収穫

高水分での刈り取りを避け、また刈り遅れにならないように注意しましょう。

パン用小麦である「ゆめかおり」の令和3年産のタンパク質含有率は、平均13・5%と高い数値でした。令和4年産においても13・0%以上となるよう開花期頃に窒素成分で2～4kg/10a追肥を行いましょう。

麦



○二条大麦(ビール麦)

穗首の8割が90度以上曲がった時期が適期で、出穂後40日くらいが目安となります。降雨後や早朝の収穫を避け、穀粒水分25%以下での収穫に努めください。また早刈りは、ビール大麦の発芽勢を低下させますので避けましょう（図2）。

○小麦

穂首が黄変して、粒が口ウ程度の硬さとなつた頃が適期で、出穂後45日くらいが目安となります。穀粒水分30%以下での収穫に努めましょう（図2）。

刈り分けの実施

赤かび病や倒伏が発生した箇所は刈り分けし、品質低下を防ぎましょう。

乾燥・調製

収穫した麦を長時間放置しておくと、ムレ麦となり、品質・発芽勢が低下します。収穫後は、速やかに共同乾燥施設へ搬入してください。

※栽培履歴・GAPを必ず提出してください。

みどり会清原支部

調理ボランティア

みどり会清原支部は2021年9月27日、女性組織として2021年度2回目の調理ボランティアを宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂で行いました。浅川京子支部長らが参加し、2時間かけて20人分の食事を作りました。

肉じゃがは食材を炒めてからすき焼きのタレで味付けして煮込み、時短調理の工夫を凝らしました。浅川支部長は「皆さんのが喜んで食べられるようなメニューを考えました」と話しました。



調理をするみどり会清原支部のメンバー



出来上がった料理を説明する浅川支部長(左)



間隔を取りながら作業するメンバー

正月用の寄せ植え

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されている中で、みどり会清原支部は活動を自粛していました。感染防止対策を十分に行い、正月用寄せ植え会を2021年12月9日、清原支所で実施しました。

23人が参加し、マンリョウや黄色・紫色のパンジーなどを次々に鉢に植えていきました。浅川支部長は「久々にメンバーが集うことができた。来年はコロナ禍が収束し、日常が戻り、みどり会の活動もできるようになってほしい」とコロナ禍の収束を願いました。



出来上がった寄せ植えを前に記念撮影



ワンプレートレシピ One plate recipe

「ホタルイカと
新ゴボウの
炊き込みご飯」



材料(4人分)

米	300g
A だし汁	かつおだし 280ml
	しょうゆ	大さじ1
	みりん	大さじ1
	料理酒	大さじ1
ホタルイカ(ボイルしたもの)	20杯程度
新ゴボウ	1/4本

作り方

- ① Aの材料を鍋で合わせ、ひと煮立ちさせて冷ましておく。
- ② ホタルイカは目とくちばしを取り除く。新ゴボウはささがきにし、水にさらしておく。
- ③ 米をとぎ、ざるにあげて20分置く。
- ④ 炊飯器の釜に①、②、③を入れ、さらに20分置く。
- ⑤ 炊飯器のスイッチを入れ、炊き上がったらよく混ぜ合わせ皿に盛り付ける。

茨城県笠間市にある
天晴(旧キッチン晴人)
オーナーシェフ
ながいともかず
永井智一



今月の直売所情報

おいしい新茶は、JAうつのみや直売所で

JAの新茶はさわやかな香りとまろやかなうま味
が評判です。種類も豊富に取り揃えています。

JAグリーンインターパークでは5/15(日)
にお茶のサンプル配布を行います。
※先着順で無くなり次第終了

対象店舗: JAグリーンインターパーク、JAグリーンかみかわち、南河内グリーンセンター

特売 南河内
グリーンセンター
第3木曜は
特売デー

お米の特売日

JAうつのみや お薦めのみやおとめ(コシヒカリ)
をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク
直売所 毎月第3日曜日(5/15)

& JAグリーンかみかわち
直売所 每月8の付く日(5/8, 18, 28)

南河内グリーンセンター 生産者さん募集!!

詳しくは南河内営農経済センター
TEL: 0285-48-2215
営農課 森田・上野まで

南部営農経済センター 購買店舗営業時間の変更について

令和4年4月1日より営業時間が以下のとおり変更となります。

営業時間: 午前8時30分~午後5時(通年)



シェフ永井のおすすめ

平石支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



平石支所は男性5人、女性12人の総勢17人で日々の業務を行っております。

今回は、そんな平石支所の組合員の皆さま、店舗を利用している皆さまに一番近くで接する、笑顔のさわやかな窓口・渉外・ライフアドバイザーをご紹介させていただきます。

お得な金融商品のご紹介や資産形成・運用相談、年金請求のお手伝い、「ひと・いえ・くるま」の総合保障によるライフプランのご提案、農業・住宅資金のお借り入れのご相談など、遠慮なくお声掛けくださいますようよろしくお願ひいたします。

来店される皆さまに丁寧でやさしい応対ができる明るい店舗づくりにより、地域に愛されるJA、便利で安心なJAを目指しております。



平石支所外観

明るい笑顔と元気なあいさつで地域No.1の店舗づくり



左より野澤杏、島宮聰美(スマイルセンター)、右より今美奈、生出志帆子、鈴木達也(融資窓口)
大掛美香、千石真理子(貯金窓口)

平石支所の窓口担当者は貯金3人、スマイルセンター(共済担当)2人、融資担当3人の計8人。ご来店いただいたお客様が不安なく手続きをいただけますよう、豊富な知識で適切なアドバイスをご提案を心掛けております。お気軽に立ち寄りください。

豊富な知識で皆さまの 大切な資産の運用をご提案

平石支所の外務職員は金融総合渉外2人、ライフアドバイザー(共済外務)3人の計5人。

貯金・年金・投資信託・融資・相続などどんなことでもお気軽にご相談・お申し出ください。また、ライフステージの変化に合わせた必要保障内容の確認をご一緒にいかがですか?



左より入江将之、田崎恵(ライフアドバイザー)
小平智恵子、渋江孝宏(金融総合渉外)

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3135	住宅ローンセンター	028-622-7100

各種お問い合わせはこちらへ

■ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル 0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスアミーリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先 028-633-0085